

令和4年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1)施設名	老人憩いの家(8施設)
(2)施設概要	<p>施設の設置目的 地域の高齢者に対し、教養の向上、レクリエーション等のための憩いの場を供与し、心身の健康の増進を図る。</p>
	<p>①三橋老人憩いの家 所在地 さいたま市大宮区三橋2-59 開設年月 昭和56年4月 構造 スレート造 2階建(三橋児童センター)の一部 主な施設 ふれあいの間</p>
	<p>②三橋老人憩いの家分館分館 所在地 さいたま市大宮区三橋2-259-1 開設年月 平成14年12月 構造 鉄筋コンクリート造 2階建 主な施設 和室、小会議室、大会議室兼レクリエーション室、ギャラリー</p>
	<p>③天沼老人憩いの家 所在地 さいたま市大宮区天沼町1-194 開設年月 昭和59年4月 構造 スレート造 2階建(天沼児童センター)の一部 主な施設 ふれあいの間</p>
	<p>④宮原老人憩いの家 所在地 さいたま市北区宮原町4-66-13 開設年月 昭和60年4月 構造 スレート造 2階建(宮原児童センター)の一部 主な施設 ふれあいの間</p>
	<p>⑤植水老人憩いの家 所在地 さいたま市西区中野林174-1 開設年月 平成2年4月 構造 スレート造 2階建(植水児童センター)の一部 主な施設 ふれあいの間</p>
	<p>⑥本郷老人憩いの家 所在地 さいたま市北区本郷町1065-3 開設年月 平成3年4月 構造 スレート造 2階建(本郷児童センター)の一部 主な施設 ふれあいの間</p>
	<p>⑦片柳老人憩いの家 所在地 さいたま市見沼区東新井710-78 開設年月 平成4年7月 構造 鉄筋コンクリート造 2階建(片柳児童センター)の一部 主な施設 ふれあいの間</p>
	<p>⑧春野老人憩いの家 所在地 さいたま市見沼区春野1-7-1 設置年月 平成6年7月 構造 鉄筋コンクリート造 2階建(春野保育園)の一部 主な施設 ふれあいの間</p>

(3) 指定管理者	社会福祉法人さいたま市社会福祉事業団
(4) 指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日</p> <p>②指定管理料 令和2年度 7,809千円 令和3年度 7,855千円 令和4年度 7,876千円</p>
(5) 施設の管理運営の内容	<p>①運営業務の状況(利用状況含む)</p> <p>◇利用状況 ・利用者数21,897人(前年度12,253人)</p> <p>◇業務実施状況 ・基本理念である「シニア世代の生きがい、やりがいを応援し、地域の中で笑顔でつながる老人憩いの家」を目指すことと、介護予防と健康づくりの促進、生きがいづくり支援、支え合う活力あるまちづくりの推進、児童との触れ合いの場、高齢者が活躍できる場の提供をするという4つの目標のもと運営を行った。 ・コロナ禍で、制限はあったが、より良い支援のため地域との連携強化に努め利用者のニーズに沿ったサービス提供を図った。このことに加え、感染者が施設内で発生した場合でのサービス提供継続を目的とした「感染症BCP」の作成にも着手した。</p> <p>②維持管理業務の状況 業者による定期的な施設設備の点検、職員による安全点検、清掃を実施し、利用者の安全確保に努めた。・コロナ禍で安心・安全に利用していただくために衛生管理、感染症対策を徹底した。</p>
(6) 収支状況	<p>①収入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理料収入 7,876千円 (前年度 7,855千円) ・その他 13,700千円 (前年度 3千円) <p>②支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業費 393千円 (前年度 490千円) ・事務費 1,145千円 (前年度 1,149千円) ・施設管理費 5,443千円 (前年度 4,160千円) ・繰入金 14,233千円 (前年度 1,440千円)
(7) 利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	<p>・日常的に施設に対する意見や要望を伝えられる仕組みとして、利用者が使いやすい場所に「みなさまの声」ボックス(意見箱)を設置して利用者の意見を伺うとともに、寄せられた意見への回答を書面をもって公表し、サービスの向上に努めた。</p> <p>・制限緩和が進んだこともあり、団体利用、行事への個人の利用が増えたため、昨年度に比べ2倍以上のアンケートへの回答をいただいた。それに加え日頃の利用者対応時にニーズの把握に努めたことで、利用者の貴重な意見を支援・サービス内容に活かして施設運営できたことが満足度の向上につながった。</p>
(8) その他	

2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
介護予防と健康づくりの促進	・高齢者が楽しみながら体を動かしたり、健康づくりに対する意欲が高められるよう「健康体操」等の実施をした。介護予防の視点による適切な運動指導やレクリエーション活動の場を提供した。
生きがいづくりの支援	・高齢者が趣味を深められるよう、手芸・工作教室、囲碁・将棋教室などの教養講座を開催した。 ・高齢者が諸活動への参加を通して円滑に仲間づくりができるよう、場の設定及び活動の支援を行った。
支え合う活力あるまちづくりの推進	・さいたま市担当課、警察署、消防署、地域包括支援センター等の地域の関係機関との連携、共催により、高齢者が安全・安心な生活ができるよう、暮らしに関する各種講話、防災講話等を開催した。
児童とのふれあいの場、高齢者が活躍できる場の提供	・児童センター併設という特性を生かし、児童、保護者等世代を超えた交流の場を設定し、相互理解を深めていけるよう支援した。 ・児童センター、憩いの家共催事業等、様々な活動や日常の関わりやふれあいを通して、高齢者が活躍できる場の設定及び活動の支援を行った。

3. 評価

(1) 指定管理者による評価

・制限緩和が進みながらも引き続きコロナ禍で感染対策を講じながらの運営ではあったが、健康増進活動や、生きがいづくり支援、人と人とのつながりの居場所の提供を積極的に行った。児童センター・児童クラブとの併設館ということを活かし、新しい仕組み・方法を駆使し交流事業を再開し、高齢者の活躍できる場を設けた。

・その他、外部研修への参加や施設内研修を積極的に実施し、よりよいサービス提供に必要なスキルの習得に努めた結果、質の高いサービスの提供につながり、満足度を上げることができた。また、ホームページの活用や、パンフレットのリニューアルも手掛け、広報活動に力を入れた。

・利用者アンケートでは、「職員の言葉遣いや接し方について」は100%に近い方から満足しているとの評価をいただいた。しかしながら「行事等内容が充実し、創意工夫がされているか」の回答率が悪かったのはコロナ禍による制限がある中での利用が影響していると思われる。そのことはしっかり受け止め、今後もニーズの把握に努めより添った支援に努めていきたい。

(2) さいたま市の評価(評価担当課: 福祉局長寿応援部高齢福祉課)

総合評価(B)※A~D

1 項目別の評価

(1)「市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進」に対する評価

・児童センターや放課後児童クラブとの併設館ということを活かし高齢者と児童との交流事業を再開し、高齢者の活躍できる場を設けた。点を評価した。

(2)「経費の削減」に対する評価

・予算額と決算額との乖離が僅かであり、概ね適切であると評価した。(水道光熱費の高騰による影響は除く。)

(3)「適正な管理運営の確保」に対する評価

・業者による定期的な施設設備の点検、職員による安全点検、清掃を実施し、利用者の安全確保に努め、新型コロナウイルス感染症対策として衛生管理を徹底したを評価した。

2 総合評価

事業計画に沿って、適正に施設運営が行われている。

(3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

引き続き適切な管理運営に努めて下さい。